



令和元年7月19日
総合政策局国際政策課(グローバル戦略)
総合政策局海外プロジェクト推進課
土地・建設産業局国際課

大塚国土交通副大臣のガーナ共和国、コートジボワール共和国出張の結果概要

～「第2回 日・ガーナ官民インフラ会議」の開催等～

大塚国土交通副大臣は、我が国の「質の高いインフラ投資」推進のため、6月10日から12日まで、ガーナ共和国及びコートジボワール共和国を訪問しました。

ガーナ共和国 (会議等の概要は別紙1を参照)

大塚国土交通副大臣は、TICAD VI^(注)の成果を踏まえ、我が国の「質の高いインフラ投資」のガーナ展開を支援することを目的に、アフリカ・インフラ協議会(JAIDA)企業24社約50名、官民合計約60名を同行してガーナ共和国を訪問し、同国政府と共催で「官民インフラ会議」を開催しました。

コートジボワール共和国 (会議等の概要は別紙2を参照)

コートジボワールにおいては、コネ運輸大臣、クアク設備道路整備大臣との会談を通じ、両国共同でコートジボワールの「質の高いインフラ」整備を促進するため、更なる知識及び経験の共有を図ることにより、両国の協力関係を更に深めていくことで合意しました。

官民インフラ会議の様子



(注) TICAD: Tokyo International Conference on African Development (アフリカ開発会議)の略。アフリカの開発をテーマとする国際会議。TICAD VI(第6回アフリカ開発会議)は、2016年8月にケニア・ナイロビにて開催。TICAD 7は、2019年8月に横浜にて開催。国土交通省は、同会議において、「日・アフリカ官民インフラ会議」を主催予定。

<問い合わせ先>

国土交通省 総合政策局 国際政策課(グローバル戦略) 藤田、川崎(内線25205、25216)
TEL 03-5253-8111、03-5253-8314(直通)、FAX 03-5253-1562

1. 第2回 日・ガーナ官民インフラ会議(6月11日)

- (1) 日時：令和元年6月11日(火)
- (2) 場所：ガーナ共和国 アクラ市内
アクラインターナショナルカンファレンスセンター
- (3) 主催：(日本側)国土交通省
(ガーナ側)道路・高速道省
- (4) 参加者：官民合計で約160名
(日本側の主な出席者)
国土交通省(大塚国土交通副大臣、北村建設流通政策審議官)、
在ガーナ大使館(姫野大使)、
清水建設 宮本会長(JAIDA 会長)、フジタ 奥村社長(JAIDA 代表)を含む日本企業
(アフリカ・インフラ協議会会員の建設、コンサル、商社、メーカー等 24社) 他
(ガーナ側の主な出席者)
アタ道路・高速道大臣、アチア公共事業・住宅大臣、ボアテン鉄道開発副大臣、
アチャンボン日本・ガーナ友好議員連盟会長他
- (5) 概要：

① 主催者挨拶

両国を代表して大塚国土交通副大臣、宮本アフリカ・インフラ協議会(JAIDA)会長、アタ道路・高速道大臣、アチア公共事業・住宅大臣、ボアテン鉄道開発副大臣、アチャンボン日本・ガーナ友好議員連盟会長より挨拶を行いました。

<大塚国土交通副大臣の挨拶概要>

「今回、ガーナ政府のご尽力により、官民インフラ会議を開催できたことに感謝。ガーナの更なる経済発展や都市化の進展に対応するためのインフラ需要は強いものと認識。日本の強みはアフリカの皆様と一緒にインフラを整備し、安全管理、施工管理、品質管理などの技術移転も進めることにあることから、TICAD7 に向けて「MADE WITH JAPAN」を特に提唱してまいりたい。

また、今回の会議では、「PPP」を主要なテーマにしており、両国の政府機関・民間企業が力を合わせ、ガーナにおける PPPプロジェクトの形成に向けて進む、大きな一歩になるよう強く期待している。

本年8月末、我が国の横浜市にて TICAD7 が開催される。国土交通省としてもインフラに焦点を当てた「日・アフリカ官民インフラ会議」を8月27日に開催予定。今回の会議を成功裡に収め、大臣をはじめ皆様と横浜でお会いできることを楽しみにしている。」



官民インフラ会議での大塚副大臣挨拶

② 質の高いインフラと PPP

国土交通省の北村建設流通政策審議官が、質の高いインフラと PPP をテーマとした基調講演を行い、「質の高いインフラ投資」を体現した海外の優れた建設プロジェクトを表彰する「JAPANコンストラクション国際賞」を紹介するなど、日本のインフラ技術や「Made with Japan」の精神への理解を促すとともに、バングラデシュにおける PPP プロジェクトの形成に向けた取組の紹介や、適正なリスク配分の重要性等について説明を行いました。また、日本企業より我が国の技術・経験や PPP プロジェクトの事例、関心、ファイナンス等を紹介しました。

更に両国は、本年 8 月の TICAD7 において開催を予定している「第 2 回 日・アフリカ官民インフラ会議」において、両国のインフラ分野に関する連携を更に深化させることで一致しました。

③ 議事録署名式

北村建設流通政策審議官は、アンソニー・A・カーボ道路高速道副大臣との間で「第2回 日・ガーナ官民インフラ会議」における意見交換の結果を議事録にとりまとめ署名しました。

2. ガーナ共和国政府要人とのバイ会談(6月11日)

大塚国土交通副大臣は、アタ道路・高速道大臣、アチア公共事業・住宅大臣及びボアテン鉄道開発副大臣等と会談を行い、「質の高いインフラ」についての両国間の認識を共有するとともに、インフラ分野における官民一体となった協力関係を強化することで一致しました。

また、本年 8 月に横浜市で開催される TICAD7 への参加を呼びかけるとともに、清水建設、大日本土木 JV が受注し工事を進めているテマ交差点改良計画フェーズ1について、並行して進んでいる本道路と交差する鉄道工事を含め、適切な進捗管理を要請しました。更に、宮本 JAIDA 会長からガーナへのインフラ整備に対して引き続き協力し



アタ道路・高速道大臣、アチア公共事業・住宅大臣、ボアテン鉄道開発副大臣との会談

ていく旨の表明を行うとともに、同席した JAIDA 会員企業からも各社の経験や技術について紹介がなされました。

アタ道路・高速道大臣からは、日本の訪問団を歓迎するとともに、我が国の無償資金協力によるテマ交差点改良事業に対する感謝及び同事業の完工予定を遵守できるよう進捗管理を行う旨が表明され、引き続き、我が国からの支援に対する期待が述べられました。また、アチア公共事業・住宅大臣からは、住宅分野における我が国との連携への期待が述べられました。

1. コートジボワール共和国とのバイ会談(6月12日)

大塚国土交通副大臣は、コネ運輸大臣、クアク設備道路整備大臣との会談を通じ、両国共同でコートジボワールの「質の高いインフラ」整備を促進するため、更なる知識及び経験の共有を図ることにより、両国の協力関係を更に深めていくことで合意しました。

また、本年 8 月に横浜市で開催される TICAD7 への参加を呼びかけるとともに、アビジャン3交差点事業の早期完工に向けて協力を要請しました。更に、奥村 JAIDA 代表からコートジボワールのインフラ整備への協力について表明を行うとともに、同席した JAIDA 会員企業からも各社の経験や技術について紹介がなされました。

コネ運輸大臣、クアク設備・道路整備大臣からは、日本の訪問団を歓迎するとともに、インフラをはじめとする様々な分野での我が国による支援に感謝を述べられました。特に、我が国が支援する様々な事業に触れ、渋滞緩和や道路状況改善に寄与している旨述べられました。また、TICAD7 へ参加の意向を示すとともに、さらなる日本からの投資を増加させるための協力について期待が述べられました。



コネ運輸大臣とのバイ会談



クアク設備・道路整備大臣とのバイ会談

2. インフラビジネスマッチングセミナー(6月12日)

インフラ整備事業に関心を有するコートジボワール企業等と日本企業とのインフラビジネスマッチングセミナーを開催しました。

冒頭、コートジボワール商業・手工業・中小企業振興大臣のディアラスバ大臣から TICAD7 を契機にしたインフラ投資等への期待について挨拶がありました。続いて、大塚副大臣より、「質の高いインフラ」をもってコートジボワールの発展に貢献したい旨挨拶を行いました。

セミナーにおいては、日、コートジボワール双方から、インフラ投資について講演が行われ、更に、ビジネスマッチングの機会を通じて、日本企業とコートジボワールやフランス企業等との間で活発な情報交換を行い、関係構築を行いました。



セミナーでの大塚副大臣挨拶